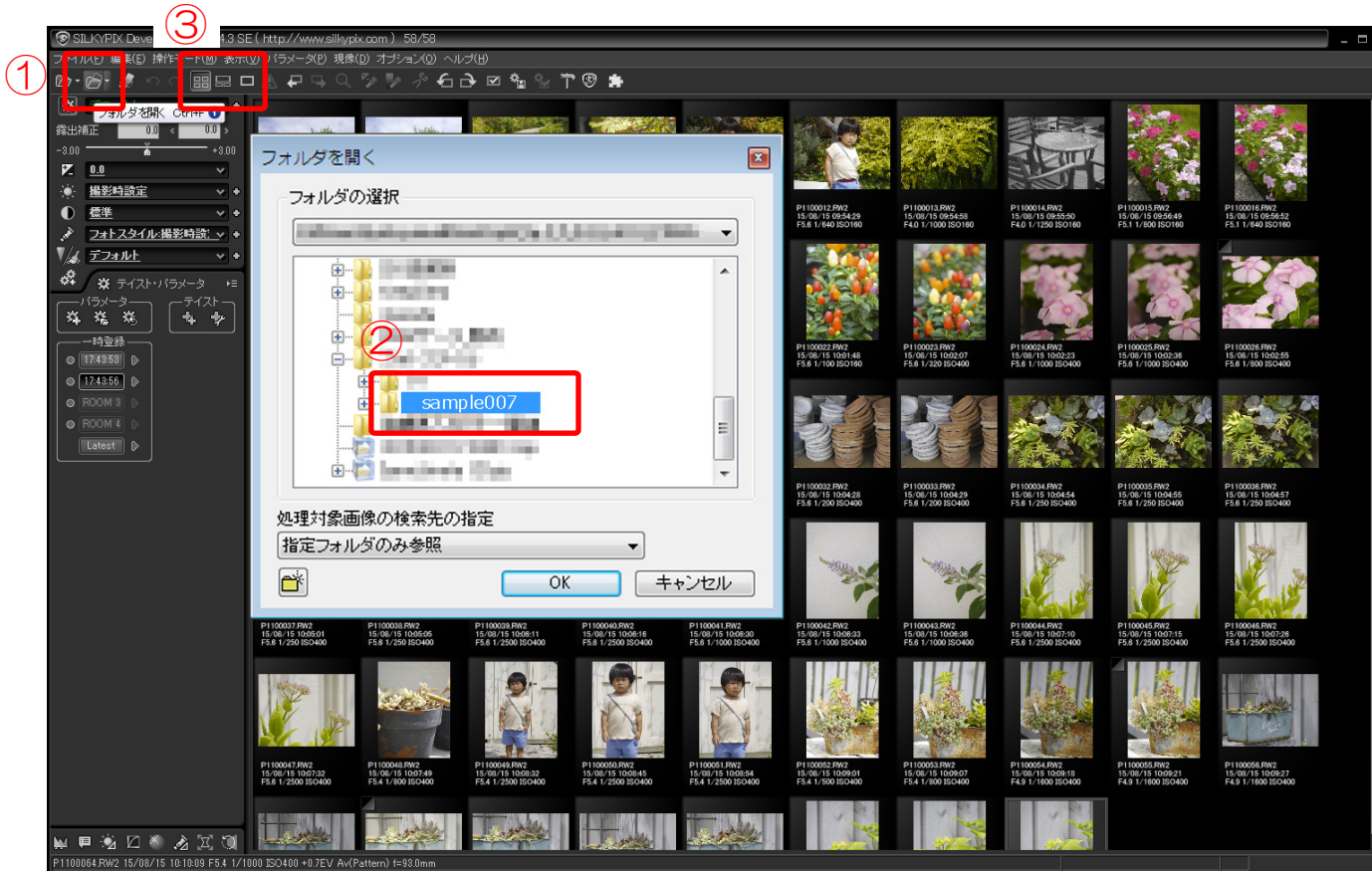


# RAW 現像基本調整 (補正編)

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 1. RAW データを開く

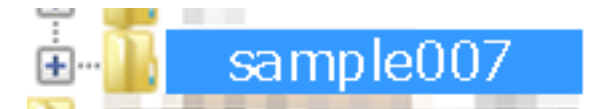


### ●フォルダを開く

SILKYPiX はフォルダ単位で RAW データを開くことができます。



①フォルダを開くアイコンをクリックしフォルダの選択画面を開きます。



②フォルダツリーからダウンロードした RAW データのあったフォルダを選択すると開きます。

### ③表示モードを切り替える

#### サムネイル表示



フォルダの中のデータを縮小版で一覧表示します。

#### コンビネーション表示



縮小表示と拡大表示を同時に表示します。

#### プレビュー表示



サムネイル表示で選択されたコマを大きく表示します。

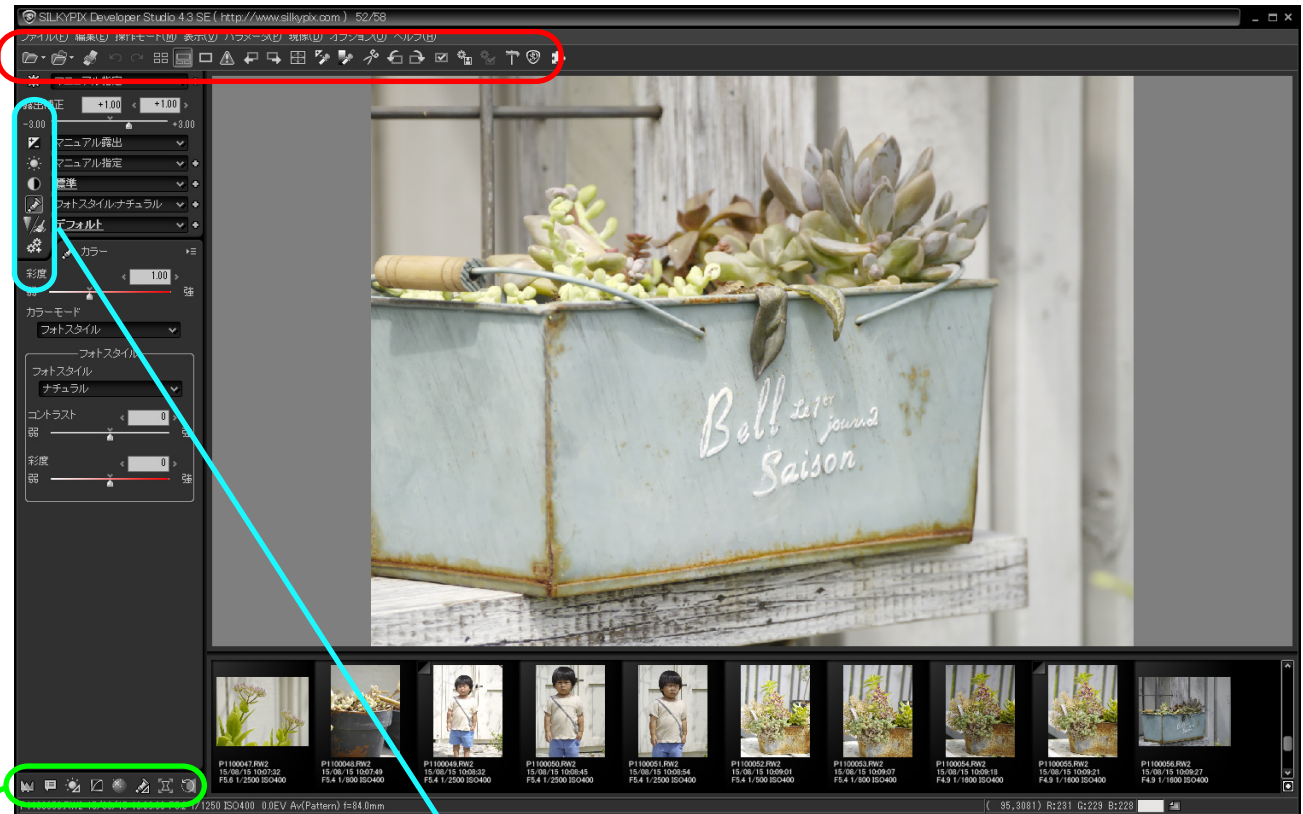
# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 2. 画面構成

### ツールバーでよく使う機能

-  印刷
-    画面表示切替
-  ハイライト、シャドー警告など
-  トリミング
-   90 度回転
-  JPEG または TIFF に変換



### サブコントロール

-  WB 微調整  
色合いの微調整
-  トーンカーブ  
コントラストの調整
-  ハイライトコントローラ  
白とびした部分の調整
-  ファインカラーコントローラ  
特定の色ごとの調整
-  レンズ収差補正  
歪みや周辺減光の補正
-  回転／デジタルシフト  
傾きや遠近感の補正
-  画像のプロパティ  
撮影情報などを表示

### メインコントロール

-  露出  
明るさの調整
-  ホワイトバランス  
全体的な色合いの調整
-  調子  
コントラストの調整
-  カラー  
鮮やかさや  
フォトスタイルの設定
-  シャープ／NR  
シャープネスと  
ノイズリダクション
-  現像設定  
色空間の設定など



# RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 3. メインコントロール



### ●スライダーの初期値マーク

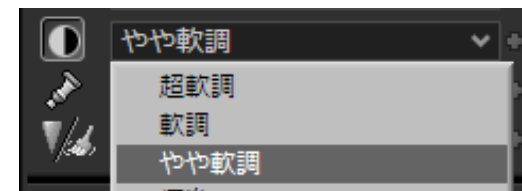
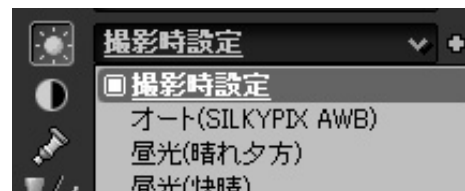


### ①カテゴリ選択アイコン

アイコンを選択すると③のタブページが切り替わります。

### ②テイスト

あらかじめ登録されている設定をメニューから選んで調整を行います。おおまかな調整をここでを行い③のスライダーで微調整できます。



### ③タブページ

①で選択したカテゴリの詳細な調整を行います。主に「スライダー」と呼ばれるコントロールでつまみを左右に動かして調整を行います。

データを開いた時の値を示すマークとなります。最初の状態がわからなくなった時の目印になります。



# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 4 . 調整前

データを開いたままの状態です。まずここで調整の目標を決めます。



①

①写真全体をもっと明るく

画面全体をもっと明るくし、爽やかなイメージへ

②花の色をもっと鮮やかに

濃い赤い花の色をもっと鮮やかに表現し、ヴィヴィッドな印象へ

③緑の色の濁りを緩和する

茶色味があった緑をもう少し生き生きとした緑色へ

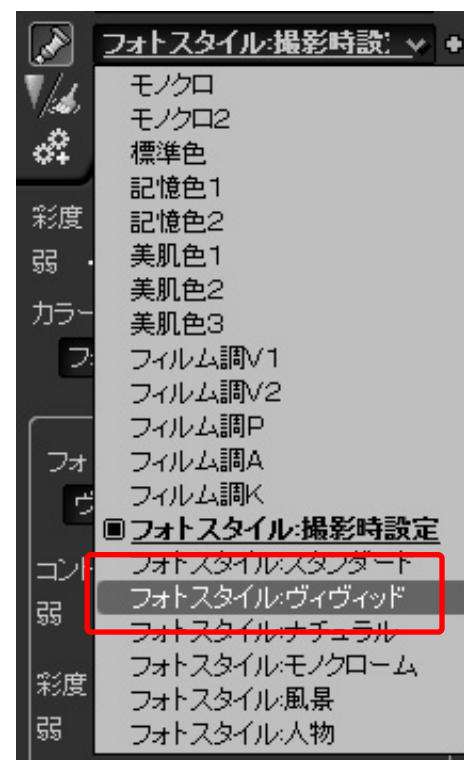
赤と緑の対比が印象的なお花の写真です。明るく鮮やかに仕上げることでその特徴を活かした仕上がりを目指します。

# RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 5. フォトスタイルを選ぶ

写真の内容に合わせた仕上がりを選択する

カラー：フォトスタイル：ヴィヴィッド



花の色が鮮やかになるようなフォトスタイルを選択します。今回はヴィヴィッドを選びました。



### フォトスタイル

パナソニック社製の一部のデジタルカメラで好みに応じた色味や画質の調整が可能な「フォトスタイル」が搭載されている場合にそれを RAW 現像時に選択することができます。



# RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 6. フォトスタイルとカラーモード

写真の色味は SILKYPIX の「カラーモード」とパナソニックの「フォトスタイル」から選択することができます。まずは試してみてイメージに近いものをお選びください。

### SILKYPIX カラーモード



▲ 標準色



▲ 記憶色 1



▲ 美肌色 1

### フォトスタイル



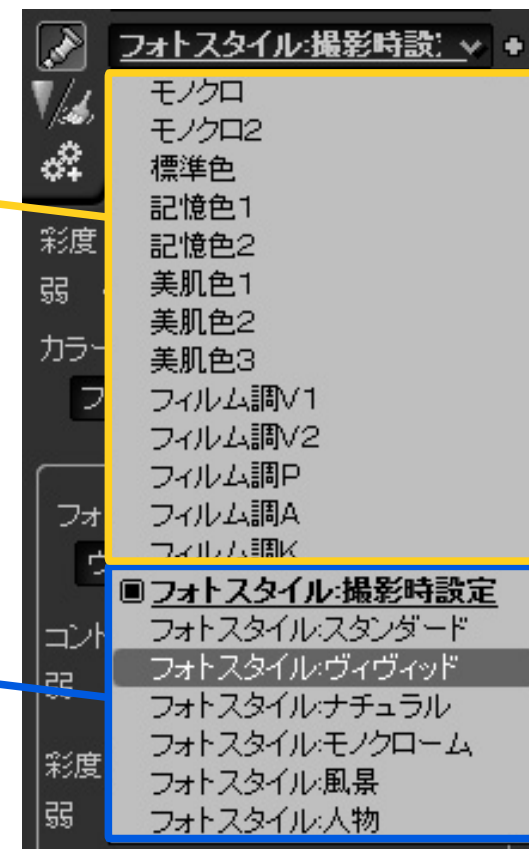
▲ スタANDARD



▲ モノクローム



▲ 人物



# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 7. 露出（明るさ）の調節



露出補正 : +0.6EV (明るく補正)



緑が鮮やかに見える位まで明るく調整



### 明るさが変わると鮮やかさも変わる

色の濁りの原因の一つには露出（明るさ）がイメージよりも暗いことが考えられます。「彩度」だけではなく明るさを明るくすることでも写真は鮮やかに見えてきます。



## RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

### 8. 緑の色だけを調整 - ファインカラーコントローラ - 写真の中の緑だけの「色合い」と「明るさ」を調節する



#### 調整したい色を選択

黄色～緑の色を選択し葉っぱの色の調整を行います。

#### 色相：+3

色相とは「色合い」のことです。  
緑の色合いを少し青い方向へ調整することで茶色っぽさが無くなり、葉っぱの生き生きとした色が表現できます。

#### 彩度：+10

他の色には影響を与えることなく緑だけを鮮やかにします。



#### ファインカラーコントローラで色ごとに微調整

フォトスタイルやカラーモードで仕上がりイメージに近い色を選択しても、シーンによっては特定の色だけがイメージと異なる場合もあります。その場合はファインカラーコントローラを使用して気になった部分の色だけを調整してください。調整できるのはサークルで分割された各色の「色相（色合い）」、「彩度（鮮やかさ）」、「明度（明るさ）」です。



# RAW 現像基本調整（補正編）

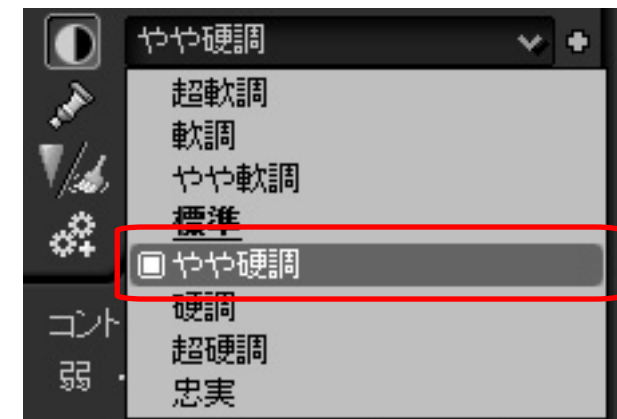
サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 9. 調子の調整 - コントラスト -

軟調～硬調（写真のコントラスト）を調整してより印象的に



### 調子：やや硬調



硬調を選択すると明暗差が強調されて光と影の印象的な写真になります。この場合、花の柔らかさが損なわれない程度「やや硬調」を選択

超軟調



超硬調



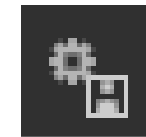
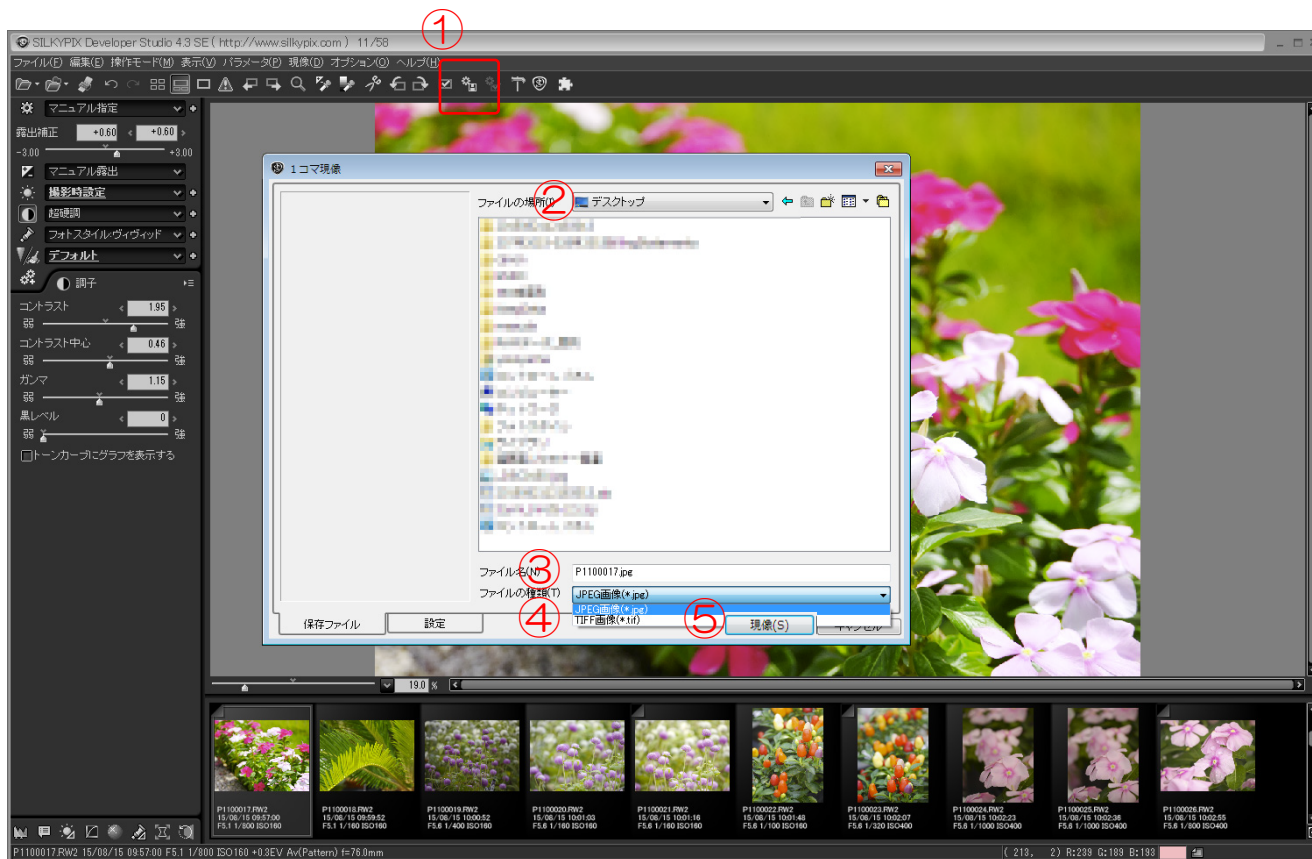
### 調子はシーンや被写体に合わせて

軟調～硬調などどの調子がマッチするかはその写真のシーンや被写体などによって異なります。例えば人物と風景では好まれる調子の傾向も異なるでしょう。撮影時のコントラストに不満があった場合は調整してください。

# RAW 現像基本調整（補正編） サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 10. 現像する

### JPEG や TIFF に書き出す



① 1 コマ現像ボタンを押すと保存のダイアログが表示されます。

ファイルの場所(I) デスクトップ

② ファイルの保存場所を選択します。

ファイル名(N) 002.jpg

③ ファイル名を変更する場合は入力します。

ファイルの種類(T) JPEG画像(\*.jpg)  
JPEG画像(\*.jpg)  
TIFF画像(\*.tif)

④ ファイル形式で JPEG か TIFF を選択します。

現像(S)

⑤ 現像ボタンを押すと RAW データから JPEG または TIFF の変換が始まります。



### 現像とは？

SILKYPiX では RAW データから JPEG や TIFF に変換する事を「現像」と呼んでいます。TIFF は 8bit または 16bit が選択できます。



SILKYPIX Developer Studio 4.3 SE を使用した

# RAW 現像基本調整（補正編）

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 11. 調整前／調整後

明るく鮮やかな写真へ仕上げることができました。

